



NO. 55

2002年 3月発行

## 2001年度ランチ合宿研修会報告

2001年度ランチ合宿は、去る2月9日～10日、参加者103名を得て行われ、講師としてスコットランドからMrs. Linda Gaul とMr. Sinclair Barbourをお招きいたしました。

LindaのRSCDSの教え方にきちんと添ったクラスと、Sinclair のデモンストレーションをいつも念頭においたクラスが見事に対照をなしていました。

今回は、初めてすべてのクラスにピアニストをつけましたが、短いフレーズを踊る場合には8barsも16barsもすぐに踊れて気持ち良かったし、通して踊る場合には生まの音楽の楽しみを感じました。

また、参加者のみなさまには、生活ボランティアをしていただいたり、夜のパーティでは思いがけず有志によるアンサンブルの演奏があったりして、参加者がみんなで作り上げた合宿という印象でした。みなさまありがとうございました。

### 合宿アンケート集計 (回収72)

アンケートは、記入されたことをそのまま載せました。記入漏れなどにより、項目ごとの計が72にならないことがあります。今後の参考にしたいと思います。

**参加回数:** 1回 (16)、2-4回 (18)、5-7回 (18)、8-10回 (6)、11回以上 (6)、15回以上 (2)、多数 (3)

**ダンス歴:** 2年 (2)、3-5年 (10)、6-9年 (22)、10年以上 (13)、15-19年 (13)、20-30年 (10)、40年 (1)

**開催時期:** 今のまま (62)、3月 (3)、4月 (2)、5月 (1)

**開催場所:** 良い・まあ良い (51)、悪い (17)

#### [悪い理由]

生活面が大変。雑用・仕事が多い。配膳・片付けに時間をとられてクラスの時間が削られる。大部屋で嫌だ。風呂が狭い。食事が良くない。集会室の床

が悪い。クラス用の部屋が2つしかなく、レベル別のクラスができない。パーティ会場が狭い。

(参考)こちらの方が良い、交通の便が良い等の意見もありました。

日 程：1泊2日(65)、2泊3日(6)、その他…1年おきに2泊3日の意見

開催年：毎年(61)、1年おき(6)

講師：外国人講師を毎年(39)、1年おきに(20)、外国人でなくても(10)

[外国人講師の希望]

男女2人が良い。できるだけゆっくり話してもらおう。Ladies Step Danceの講習も。

クラスの適応性：とても合っていた(12)、ほぼ合っていた(38)、普通(19)  
全く合わない(2…理由 自分のレベルが低く、みんなに迷惑をかけたしまった)

クラスの楽しさ：とても楽しかった(46)、かなり楽しかった(20)、普通(6)

良かったこと・有益だったこと：

いろいろな人と交流ができた。男女2人の講師が良かった。講師の技量と人柄が良い。bookの曲で資料があるから良かった。デモ・ダンスを教えてもらったこと。ハイランド、ソード・ダンスが新鮮。スタッフの指示のもと全員がボランティアとして頑張ったこと。大部屋や手伝いを通して知り合いが増えたこと。合奏ができたこと。初心に戻ってstep formationの確認ができたこと。足の踏み替えを丁寧に習ったこと。formationのポイント、teachingのポイントがわかったこと。英語でゆっくり話してくれたこと。よくはわからなくとも集中して聞く楽しさ、快感を味わった。パーティでの合奏がよかった。social danceとdemonstration danceの違い、SCDがsocial danceであることを再確認。踊る楽しさを顔と体で表現することへの注意。講師も受講者も意欲的。東京ランチ以外の人の参加。リングダの対象者(参加者)を見ての踊りの導入の仕方。気持ち良くピアノが弾けたこと。

いやだったこと・改善してほしいこと：

講師のstepをよく見せて。時間内に質問の時間をとって。通訳はダンスのよくわかる人を。パーティのMCにマイクを。つまらなそうな態度の参加者がいたこと(全体の雰囲気が悪くなる)。lesson中にしゃべっている人がいて講師の声が聞こえなかった。もっと短く通訳して。ダンス用語はみんな知っているのだから、ゆっくり話してくれれば通訳の必要なし。welcome party

後の懇親会は、もっと入りやすく。大部屋で眠れない。風呂が狭い。洗面所に温水を。トイレ・風呂掃除・片付けが嫌い。

**その他：**音楽・資料を斡旋してほしい。直接、外国人に指導を受けるチャンスがないから合宿が楽しみ。限られた物品（パーティ会場）を売るとき、同じ人に何度も当たらないように配慮をしてほしい。小海さん・村上さん・本守さんにエール。お茶の時間が何度もあり、沢山のお菓子の用意は大変ではないか。このような合宿のときは、当番やお手伝いをするを学ぶべき。ホール・階段の掃除も決めて。遠方の人ほど大部屋が良いのでは。  
(その他スタッフへのねぎらいの言葉が多数ありました。)

## 合宿感想文

**A first visit to Japan**

**Linda Gaul** ( )内は編集部補足

東京・成田空港に到着、順子（松橋）と敦子（吉澤）に笑顔で挨拶した瞬間から、日本でスコティッシュ・カントリー・ダンサーと共に過ごすのは楽しいものになるだろうと思いました。

友人との観光で過ごした翌日、ラサールで行われる東京ランチの週末合宿に連れて行かれました。みんな電車で行きましたが、電車が時間どおりに運転されるのは快いものでした。

土曜の午後と日曜の午後は20人のティーチャーとプレリム合格者からなる2グループを教えました。言葉の違いがあるにもかかわらずよくコミュニケーションできたと思います。全員ステップとフォーメーションがよくわかっているいいダンサーでした。ビギナーの振りをするのは難しそうでしたが（ビギナー・クラスで教える場合とアドバンス・クラスで教える場合という時間があつたから）、時には、うまく踊ろうと思うあまり、楽しそうに踊る社交精神があふれていないということもありましたが、リラックスしてくるとそういうこともなくなりました。夕食後のQ&Aの時間では、私のダンス歴を話すことからトランジションの複雑さやダンスの名前の意味にまで及びましたが、全員楽しんでいました。

合宿の参加者は、日曜日に到着し、午後と月曜のクラスは、3人の優れたミュージシャンを得たことで生き生きしたものとなりました。ミュージシャンは日曜日のパーティでも交代で演奏し、他のミュージシャンも加わって演奏したものもあります。彼らはダンスシューズを楽器に替えたのです。本当に弘子（小海）の指導の下、いい演奏をしたグループでした。

全てにわたって素晴らしい週末でした。非常に友好的な雰囲気の中で、日本人のホスピタリティと文化を体験することができました。日本のSCDファミリーの一部となって楽しむことができました。短い間でしたが、歓迎して下さった皆様に感謝したいと思います。

### **A first visit to Japan**

From the moment I stepped into Tokyo/Narita Airport and saw Junko and Atsuko there to greet me with a smile and a cheery wave, I knew I was going to enjoy my stay with the Scottish country dancers of Japan.

After a free day spent sightseeing with friends I was ready to be escorted to La Salle for the Tokyo Branch weekend workshop. We all went by train and what a pleasure it is to have trains that always run on time! On Saturday afternoon and Sunday morning I had two groups of about 20 teachers for workshop sessions and despite the differences in our languages we all seemed to communicate well. They were all good dancers with an excellent knowledge of all steps and formations and pretending to be beginners was very difficult! Sometimes the desire to dance well didn't allow the joyful social spirit to shine through, but this improved as everyone relaxed. The question and answer session after dinner ranged from my dancing history, to the intricacies of transitions and the meaning of dance names and was enjoyed by all.

Other members arrived on Sunday and the classes in the afternoon and on Monday were, for me, equally stimulating, especially as I had the services of three excellent musicians. During the dance on Sunday evening all three pianists took part and for some dances were joined by others, who exchanged their dancing shoes for musical instruments – truly, a talented group under the guidance of Hiroko.

It was altogether a wonderful weekend, experiencing Japanese hospitality and culture in a most friendly atmosphere. I did enjoy being part of the Japanese family of Scottish country dancers, albeit for a very short time and wish to thank everyone for making me so welcome.

Sinclair Barbourから

( )内は編集部補足

合宿で教えることを引き受けた時はうまくいくかどうか不安でした。プレリム合格者とティーチャーにも教えるとわかった時は心配にもなりましたが、成田空港で暖かい歓迎を受けて全ての心配は消え去りました。短い東京滞在中に、去年スコットランドに来た大野悦子さん、飯田康子さんや他のダンサーに会えて嬉しかったです。このグループはダンスも上手ですが社交性(暖かい歓迎を受けたこと)もあります。

ティーチャーズ・クラスでは、(3つのダンスをつなげた)メドレーを教えました。ダンサーはよく自分のダンス能力を過大評価するものですが、東京ではダンス・テクニックの標準とダンスの知識は非常に高い水準にありました。試験にパスしただけのことはあります。

合宿のクラスも水準は非常に高いものでした。私がリラックスして皆と知り合いになり始めた時には別れる時が迫っていました。残念なのは観光をする時間がなかったことです。多くの新しい友人ができ日本訪問を十分楽しむことができました。

皆さまとまたお会いしましょう。歓迎してくださってありがとう。

It was with some fear that I accepted to teach at your workshop, even more worried when I discovered I was to teach prelium and fully certificated teachers. But with a warm welcome at Narita airport soon dispelled any worries. At the start of my short spell in Tokyo it was great to see Etsuko Ohno, Yasuko Iida and the dancers who visited Scotland last year. This group can certainly socialise as well as they can dance.

I enjoyed teaching the teachers class and putting together the medley, often dancers over estimate their own ability but I found that in Tokyo the standard of technique and general knowledge of dance was of a very high standard and all teachers were well deserved of their certificate. Again in the general class the standard of dance was high. It was only when I was about to leave that I more relaxed and beginning to get to know everybody. My only regret is that I didn't allow more time to sightsee but I feel I have made many new friends and thoroughly enjoyed my visit.

Hope to see you all again and thank you for making me feel so welcome.

## 合宿研修会に参加して

山田 治子・田中 一美

2月にしては珍しく前日まで小春日和の暖かい日が続いていたのですが、当日は早朝からボタン雪、真白い世界から車中の人となり2時間足らずでカラカラ陽気の東京。日野の坂道には梅が咲いていました。

久し振りでお逢いするお仲間との挨拶もそこそこに研修室会場へ。

緊張した頭と体を解きほぐすようにウォーミングアップのケーリーダンスから始まりました。

楽しくなごやかな雰囲気の中にも、時々ピリリと張りつめた一瞬を感じとりながら、全神経を目と耳に集中。初めのうちはなかなか言葉が頭に入らず不安でしたが、Mrs. Linda Gaulの美しく正確なステップのデモンストレーション、めりはりのある明るい声。時にはユーモアたっぷりの悪い見本のデモンストレーションと、どんどん引き付けられ惹き込まれて行きました。“ハッピーダンシング”と笑顔で、体全体で指導して下さるお姿に深い感銘を受けました。

心に残ったことの一つ。バウ&カートシーの大切さです。

ダンスはコードで始まりコードで終わる。踊り終わってすぐに拍手するのではなく、きちんと挨拶してから、ゆっくり拍手で感謝を表現しようとの事。これからは心を込めてバウ&カートシーをしましょう。

Mr. Sinclair Barbourは、とっても素晴らしい声と共に彼独特の口調で私達をリズムに乗せてくれました。

彼の音楽の趣味の幅広さを体で感じる事ができました。

メドレーのダンス曲では、隊形が変わるのに頭がついて行かず戸惑ってしまいましたが、とても楽しくて、是非、又、踊ってみたいと思っています。

ナイフを用いての素敵なハイランドダンス、楽しく見せていただきました。

地方にいと情報にも疎くなり、自分自身目をつぶっているところもあり、研修会や合宿に参加すると強い衝撃を受けます。

今回も私達にとって良いタイミングで大いに刺激を与えてくれました。

日々の努力の積み重ねが、いかに大切かを痛感させられた2泊3日でした。スタッフの方々には、いつもご苦勞をおかけするばかりで申し訳なく心が痛みます。本当にありがとうございました。

## 2/10・11の合宿に参加して

本守 明美

洗っても洗っても洗っても…続くお皿の山に、隣の人と汗びっしょり。私の皿も洗ってくれた人が、配膳した人が、掃除をした人がetc. 沢山の人の協力を感じた。夜のパーティは、熱気に満ち、100人近くの人が踊ると床が揺れ動く。床と一緒にゆれるピアノと、椅子ごとゆれる私が弾くなんて…（私は今まで静止しているピアノでしか弾いたことがない）。建物まるごと踊っているような。おもしろーい体験。男性参加のダンスは、力強さやスリルある思わぬターンがとびだしたりで、広がりを感じ、一層楽しかった。忙しいスケジュールが終わると、満開の梅の香が、又、セキレイもちょこちょこして、見送ってくれた。私達7名の名古屋一行は、帰りに寿司屋で、イッキ喰い現実に戻った。新幹線の中では、隣の人と“終わった終わった”とお茶のペットボトルで、ポーンと何回も乾杯し、ラッパ呑みした。ヤレヤレというのが私のホンネ。my cupならぬmy pocket（いつでもとりだせる）に入れる楽しい思い出が又1つふえた。スタッフ及びダンサーの皆様ありがとうございました。

## 初めての合宿

佐藤 真理子

合宿の日が近づくにつれ、気が重くなった。  
理由は二つ。一つはラサール研修所に個人的に苦い思い出があること。もう一つは三日間外国人講師であるということ。  
初日から緊張がはしる。  
ティーチャーの話に、うなづく人、笑う人、私はチンプンカンプン  
「何と言ったの?」「何がおかしいの?」  
周りを見ると、皆理解出来ている様子。“これは駄目だ”  
英語力の無さを痛感した。  
理解出来る人には、大変迷惑ではと考えたが、思いあまって、少し通訳をとお願いした。  
部分的には分かってきた。  
それでも私にとって、ここは大事だと思われた箇所があり、理解出来ずに大変残念だった。  
後で質問しようと思ったが、タイミングをはずしてしまった。これも全て、自分のヒヤリング力の無さで、情けなかった。  
何人かと話したが、勉強するしかないと言われた。たしかに、ある方が、体験するうちに、勘が働き分かるようになるからがんばってと励まされた。

勉強するしかないのは、良くわかるが、気持ちが入らない。

する事が多く、暇がない等と逃げている自分がいる。

悶々としている内に、最終日になった。

何か少し様子が違って来たように思える。

周囲が見えるようになった。外は雪がチラつき、飛行機が飛ぶのかなと気になったり、セット内の動きが見えてきた。

ああこれが馴れてきて、勘が働きたのかと…。

その内、すごく動きのいい人を見つけた。

アイコンタクトといい、フレージングはもちろん、カバーリングも自然な形で出来ている。いやみがなく、ユージングハンドもすばらしい。

少し楽しくなった。

これからなら少しは理解しながら動けると思いながら終わった。

生活面でお世話して下さったスタッフの方々にお礼も言わず失礼してしまいました。

特に少ない間をかくぐって通訳して下さった吉澤さん、鈴木さんには大変お世話になりました。これからは、前向きに考えようと思えるようになりつつあります。いい勉強をさせて戴きありがとうございました。

## 2002年東京ランチ合宿に参加して

KEN&NOKO KASUGA

(RSCDS PARIS BRANCH)

日本へ一時帰国中にお誘い頂き、厚かましく参加させて頂きました。初心者がウロウロして会員の皆様には多大なご迷惑をおかけした事深くお詫び申し上げます。また、このような私達を親切に受け入れて下さった参加の皆様には厚く御礼申し上げます。

この合宿講習会を企画運営された幹部の皆様並びに指導者の皆様の並々ならぬご尽力に感服いたしました。又、全国各地から参加された会員の皆様の熱意に驚きました。このような皆様の情熱が日本のスコティッシュダンス発展の基盤になっているのだな～と思いました。

フランスでもウイークエンドのスタージュ（講習会）が各地のクラブで行われます。指導者の先生や音楽家はスコットランドから呼びます。土日の2日か金曜の夜から日曜日の午後までの3日間のいずれかです。大抵、土曜日の夜、バル（舞踏会）があります。

日曜日の午前と午後にもスタージュがありますが、日曜日の朝は皆グズグズ寝ていて、半分の参加もあれば上出来です。なにせ休日の朝食はベッドの中で毛布にくるまってカフ



エオレとパンを食べる国民ですから早起きしてがんばろうなんて人は少ないのです。お金を払って損得の問題ではなく、自分自身が幸せであるかないか、楽しいか楽しくないかが優先します。このようなスタージュや年に1～2回行われるグランバル（大舞踏会）では英語とフランス語が使われますが、通常の練習会ではフランス語のみで行われます。例えば、ライトアンドレフトはマンドロワタゴージュ、ダウントミドルアンドアップはデッサンミリュエルトウールネ、アクロスはムーラン、チェーンはシェーナ、ハーフはドウミ、ハーフターンはドウミトウールネ、クロスはクロワゼの様に言います。フランスの用語も発音が多少違いますが、プセット、プロムナード、パドウバスク、トウールネ、タルジュ、ペトロネラ、アルマン、等そのまま使われています。パリには、パリブランチの他に2つグループがあります。フランス各地にも沢山クラブがあります。フランス旅行の際にはダンスシューズをお忘れなく、但し、バルに参加の際には、皆様の様な上級ダンサーは、出来るだけ楽団に近い前の方で踊って下さい。だいたい最後まできちっと踊っているのは前の方の数組で、後ろの方は大抵ゴチャゴチャになります。早い曲ではお祭りになるとすぐキャキャとエイトハンドラウンドになります。シャンパンとワインのせいかワハハハと大騒ぎです。きっちり踊りたい人は出来るだけ前へ、でないと何回もエイトハンドラウンドをさせられるはめになります。それでは、ボンボワヤージュ、メルスイミルフォワ。

## R S C D S（本部）への寄付金集計額

会員のみなさまから下記のとおりご協力をいただきました。  
ありがとうございました。

1月	新春パーティ	29, 294円
2月	合宿研修会	20, 706円
	〃 チャリティショップ	17, 000円
合 計		67, 000円

## 2002年度東京ランチ総会のお知らせ

2002年度の総会を次のように行います。多数の方のご出席をお待ちしています。

日 時：6月1日（土）13：30～17：00

会 場：未定。決まり次第お知らせいたします。

◎ 総会終了後、ソーシャル・ダンシングを行います。

### 東海ランチの東京でのアドヴァンス・クラス開催について

上記について、2月22日付けで本部から次のような手紙が来ました。

2002.2.22 本部 Alan Mair Jean Martin

cc: 両ランチのRep. と篤子・クレメント

東京ランチ宛

東海ランチ宛

2001年7月に東京ランチから「東海ランチが東京でクラスを開催している」ことについて質問があって以来、時間がたったが、その間私達だけでなくGPCのメンバーおよびECのメンバーたちからもこの件について考慮が払われてきた。

ソサエティの将来の発展のために、「全てのランチがソサエティConstitutionにある目的に向かって協力して活動していくことが重要である。ご存じのように最初の2つの目的は次のようである。

- 伝統的なSCDを保存し広めていく
- SCDの特別な教育や教え方を準備するまたは準備するのを助ける

加えて、各ランチは、ソサエティと2000年1月の…Appendix IIIにあるような「ライセンス・アグリーメント」を交わしている。

ランチ創設の時に同意された条件に何の変更もないことをここで繰り返しておく。つまり、

- ・東京ランチはソサエティと同じ目的をもつ、その目的とは東京のエリアの中で上記のような目的を達成していくこと
- ・東海ランチはソサエティと同じ目的をもつ、その目的とは東海のエリアの中で上記のような目的を達成していくこと

しかしながら、東海ランチは、東京在住の会員が非常に多いという例外的な状況に置かれていることが認められた。

世界中のランチは“members only”の活動は他のランチの地理的エリアと定義されている場所で行なうことができる。ソサエティのECはランチがそのような活動を止めることはできないし、したいとも思わない。こういう場合他のランチ間では互いにフリーにオープンにコミュニケーションし情報を交換している。しかし、“A”ランチが“B”ランチの地理的エリアと通常考えられる場所でこのような活動を一般の人に広告することは倫理的に許されない。

このような一般原則は、ソサエティが関与する全ての国のすべてのランチの全ての会員に適用される。ソサエティは東京ランチ、東海ランチそして埼玉ランチが日本でSCDの楽しみをさらに紹介し続けることを希望する。既に多くのことが成就されて来たが、考慮と協力の精神をもって3ランチが更に強くなることを希望する。

Alan Mair, Chairman

Jean Martin, Vice Chairman

運営委員会では、1) 東海ランチの東京在住会員が多いのは設立当時から変わらない。それを承知で東海ランチの会員になったはずであること。2) 東海ランチは、東海ランチのクラスを他のランチのエリアである東京で開催することについて、事前に東京ランチの了解を求めている。本部は、他の地区でも同様なことが行なわれているという例をあげているが、これは関係ランチが継続的に友好的に協力し合っている場合の

みであること。3) ブランチ・クラスはブランチの公式の行事であるから、エリアを守ってほしいこと。4) ブランチ・レターも宣伝の一手段であること。5) あるブランチが他のブランチのエリアで活動を行っているのならば、Constitution に明記してあるareaとどう関連してくるか等 再度本部へ申し入れるべく準備中です。

## 2002年度登録更新・新会員登録手続きのお願い

### 1) 登録の種類

#### (a) 東京ブランチから本部へ登録する方 (新規会員も同様)

ブランチ年会費 2000円

ソサエティ年会費 2000円 合計 4000円

(ソサエティ年会費は、今年度から10ポンドになりました。)

#### (b) ロングまたはライフ会員 ブランチ年会費 2000円

#### (c) 他のブランチからまたは直接本部へ登録する方

ブランチ年会費 2000円

\*今年満期となったロング会員の方は、現在ロング会員制度は中止となっているので、  
年会員 (a) として登録してください。

### 2) 同封の振替用紙 (1人1枚) に必要事項を記入の上、会費を払い込んでください。

氏名 (Mr. Mrs. Miss) とフリガナ、ローマ字

郵便番号 および 住所

電話番号 (Fax付きの場合は、Fとつけてください。)

E-mail アドレス (はっきり一字ずつ区切って書いてください。)

\*いずれの場合も前年と変更があった場合は、(変)とつけてください。

### 3) 登録締切: 4月20日 (振替依頼日で可)

\*振替から入金通知到着まで約2週間かかります。本部への登録の締切は5月末日です。なるべく早く手続きをしてください。間に合わないと思われる場合は、払込票のコピーを鈴木百々代 (Fax No 0492-96-1766) まで送ってください。

詳細は、同封の別紙をご参照ください。

FEATURED DANCES FOR 2002-03

The Earl of Mansfield	R	Leaflet Dances Book
Broadford Bay	R	Leaflet Dances Book
Mrs Stewart of Fasnacloich	R	Leaflet Dances Book
The Reel of the Royal Scots	R	Leaflet Dances Book
Fair Donald	S	Book 29
Braes of Breadalbane	S	Book 21
Frae a' the Airts	M	Leaflet Dances Book
Happy Meeting	J	Book 29
Muirland Willie	J	Book 21
Teviot Bridge	J	Book 5

告知板

つが  
都賀SCDS 10周年パーティ

お陰様で10周年を迎えました。初の公開パーティです。

日時：2002年4月21日(日) 13:30~16:30

会場：千葉市蘇我<sup>そが</sup>勤労市民プラザ 4F 多目的ホール(更衣室 3F)

千葉市中央区今井1-14-43 (043-266-5504)

JR蘇我(そが) 駅から徒歩3分

参加費：700円

問合せ：吉江紀美043-237-4715、増田静子043-232-2257

◆◆◆ 予定曲 ◆◆◆

ST. ANDREW'S FAR(J)

PELORUS JACK(J)

FLOWERS OF EDINBURGH(R)

LADY GLASGOW(S)

WILD GEESE(J)

JHON OF BON ACCORD(R)

WIND ON LOCH FYNE(S)

MRS. STEWART'S JIG(J)

BLACK MOUNTAIN REEL(R)

ROSE OF THE NORTH(S)

FIFE NESS(R)

ELISABETH HUNTER'S S(S)

BURNS NIGHT(J)

MAIRI'S WEDDING(R)

ADIEU MON AMI(S)

IAN POWRIE'S FAREWELL-(J)

MISS MILLIGAN'S STRATH(S)

REEL OF THE ROYAL SCOTS(R)

### 岐阜スコティッシュカントリーダンスクラブ

創立35周年記念 ウィークエンドクラス/アニバーサリーボール

日時: 2002年10月12日(土)~14日(月/体育の日)

会場: 岐阜ファミリーパーク/岐阜グランドホテル

講師: Mrs. Mary Murray

ピアニスト: Mrs. Muriel Johnstone

参加費: 25,000円(全日程)

問合せ: 有田典和058-262-1656 (TEL & FAX)

詳細は追ってご案内いたします。ホームページも開設いたします。

RSCDS東京ランチレター

No. 55

2002. 3. 30

編集責任者: 佐藤雅紀

336-0015 さいたま市太田窪 2000

TEL. FAX: 048-885-1894

発行: RSCDS東京ランチ

吉澤敦子

300-0841 土浦市中 1319-11

TEL. FAX: 0298-41-0767

E-mail: st6a-yszw@asahi-net.or.jp